

医学部

Faculty of Medicine

良き医療人材の育成と
生命科学分野の研究拠点を目指して

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成13年に看護学科を併設しました。
平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。



医学部長
片岡寛章

医学科と看護学科は、本学のスローガン「世界を視野に地域から始めよう」の下、地域社会はもとより広く世界に貢献する医療人を輩出することを目指しています。両学科共に1年次から始まる専門基礎科目を経て、学内外での体験学習を行い、医療人としての自覚を早期に育成します。医学科では4年次、看護学科では2年次から医療現場での臨床実習が始まります。臨床実習は本学部附属病院のみならず、各地の連携研修医療施設においても行われ、最前線で活躍する先輩医師や看護師から直接指導を受けます。また、ドクターヘリの運航や救命救急センターの診療を通して、県下医療機関と連携した救命救急医療体制を構築してきました。研究活動では「生理活性ペプチド」や「成人T細胞性白血病」の研究をはじめ、数多くの世界最高水準の成果を生み出しています。このような環境の下で医学・看護学を学び、地域を支える意欲、また世界に貢献する意欲に燃えるみなさんの入学を歓迎します。

■医学部 各学科

医学科

地域における医学・医療の中心的な役割を果たす宮崎の地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる医師・医学研究者を育成。

P21

看護学科

人間と生命の尊さがわかる専門職を育成看護による健康への支援を通して保健医療に貢献できる看護師、保健師を育成。

P23



■ 医学部の使命

宮崎大学医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。

■ 医学部の教育理念・目標

教育・研究・診療を通して、地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、高潔かつ温かな人間性を有し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち常に向上のための努力を惜みず、地域の問題を理解すると共に豊かな国際性を有する医師、看護師、研究者、教育者を育成します。

■ 卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

医学部

宮崎大学医学部では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

1. 社会に貢献できる医療人として、豊かな人間性を持ち、謙虚な心で、人命尊重、的確な判断力、実行力を備え、義務と権利を適正に行っている。
2. 自ら学修計画を立て、主体的に学び、自己研鑽し、最新の医学および看護学の知識を生涯にわたって学修することができる。
3. 教育によって身に付けた医学および看護学の知識や新たな知見を複眼的、論理的に分析するとともに、課題を認識し医療の進歩に貢献できる。
4. 相手の伝えたいことを的確に理解し、自己を表現でき、他職種と連携してチーム医療を実践できる。
5. 医学および看護学を学ぶ機会が得られたことへの感謝の心とプロフェッショナルとしての自覚を持ち、教育で得た知識、技能によって地域医療に貢献できるとともに、グローバルにも活躍できる。

■ 施設紹介



臨床技術トレーニングセンター



フロンティア科学総合研究センター



総合教育研究棟



総合周産期母子医療センター



地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に国際的にも幅広く活躍できる人命尊重を第一とした医師、医学研究者を育成します。

地域特別枠として宮崎市外での実習を経験でき、地域医療を肌で感じられる。

医学科 4年

濱川 晃輔 Kosuke Hamakawa

宮崎県 宮崎西高校出身

幼少期に身内を亡くし、自分が医師だったら役に立てたのという思いがあります。本学は、入学してすぐに早期体験実習があるため、大学病院での医師の動きを垣間見ることができます。また私は地域特別枠で入学しているため、1、2年生時に市外にも実習に行きました。そこで都市部の病院での実習だけでなく、地域を見学する時間もあり都城弓の製作所を訪問する機会をもらえましたし、地域実習では島浦診療所で地域に支えられている医療の状況を目にすることができました。部活でラグビーをしています。集団スポーツをすることでコミュニケーション能力が鍛えられ、OBなどとの人脈づくりにも役立っていると感じます。授業に部活動に充実した学生生活を楽しんでいます。



Admission Policy 入学者受入方針 -求める学生像-

アドミッション・ポリシー

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力(主体性・学問への関心)を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力(知識・技能)と他者と協調・共感できる豊かな人間性(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。



薬物療法の有効性と安全性に関する十分な知識を有する医師の育成を目指して

宮崎大学医学部附属病院薬剤部部長 教授 池田龍二
Ryuji Ikeda

近年、低分子有機化合物および抗体医薬などの分子標的治療薬の開発が進み、患者さん個々により適した医薬品を選択することが求められています。医薬品の適正使用を実践するためには、薬剤の作用、副作用、体内動態、製剤学的特徴、多剤併用時の相互作用、使用上の注意などを把握しておくことが必要となります。また、麻薬や処方箋記載方法などの理解も必要です。医学の進歩に伴い、新しい治療薬が生み出されていますが、未だ病気で苦しむ患者さんは多く、薬物療法の有効性と安全性に関する十分な知識を有する医師の育成を目指しています。

KOKOCHU
ココに
注目!

医師として働き続けるための『キャリアデザインサポート』体制

宮崎大学医学部では、医学科の卒業生及び学生が個人の資質を最大限に発揮しながら、医師・研究者として社会貢献を果たすキャリア形成を支援しています。大学ホームページ上では、専用サイト「キャリアデザインサポート」を運用し、卒後臨床研修プログラムや専門研修プログラム、医学研究及び大学院進学、海外留学等に関する情報提供をはじめ、登録された卒業生・学生の問い合わせにも対応しています。

また、宮崎の医療を担う若手医師の育成のため、宮崎県を始めとする自治体、医師会、大学病院の三者が一致協力して、オール宮崎体制を築いています。

大学や附属病院の情報提供はもちろん、本学医学部で学んだ皆さんを卒業後も大学教員・職員・宮崎県が一丸となって応援していきます。

 Career Design Support

宮崎大学医学部卒業生を支援するサイトです

■卒業後の主な進路

臨床研修医(本学附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院)

■取得可能な免許、資格

●医師(国家試験受験資格)

社会と地域の保健医療に貢献できる人材を育成します。何よりも豊かな人間性を大切にし、人々の健康な生活への援助を実践するために附属病院の最先端医療設備を活用した高度な看護学を学びます。

グループ担当教員制度で、勉強や日常のことなど相談しやすい。

看護学科 4年

矢原 亜李奈 Arina Yahara

宮崎県 高鍋高校出身

本学科は附属病院に隣接しており、臨床経験豊富な先生方をはじめ、現場で働く皆さんから最新の宮崎の医療の状況を聞くことができます。私が特に助けられたのが、学科独自の取り組み「グループ担当教員制度」で、勉強や生活面の悩みを気軽に相談しやすい雰囲気があります。また、学年間のつながりが盛んですが、部活動をすれば医学科の学生とも交流可能。年齢や学科を超えた付き合いの中で礼儀礼節も学べます。実習は緊張しますが、附属病院であるため、実習に入る前から看護師長の講義や認定看護師から専門的な話を聞けて、1、2年生から病院の様子を感じることができ、実習に取り組みやすいです。将来は救急看護師を目指していますが、経験を積んで知識を吸収したいです。

Admission Policy 入学者受入方針 - 求める学生像 -

アドミッション・ポリシー

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。

看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力(知識・技能)を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心(学問への関心)、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力(主体性・多様性)、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

人々の“Quality of Life”の向上を目指して。

看護学科統合臨床看護科学講座
成人・老年看護学領域

教授 木下由美子
Yumiko Kinoshita

“Quality of Life (QOL)”とは生活の質のことですが、看護職は人々の健康に関するQOLの向上に貢献できるやりがいのある職業です。

看護学科は、専門職育成のための質の高い教育はもちろん、さまざまな研究によるエビデンスの構築、人々のQOLの向上にむけた社会貢献など多様な役割を担っています。

いまや人生100年時代であり、サクセスフルエイジングによる元気な宮崎に貢献することも可能です。高齢化に伴いがん罹患する方もますます増えています。私は、がんの予防から患者・家族のQOLの向上にむけた支援について研究しています。隣接する宮崎大学医学部附属病院は、特定機能病院、宮崎県がん拠点病院でもあります。このような恵まれた環境で、“世界を視野に地域から”人々のQOLの向上に貢献できる看護職者や研究者を目指してみませんか。



Message

KOKOCHU
ココに
注目!

看護学の発展のために!

看護学の一層の発展のため、宮崎大学では医学部看護学科を母体とし、単一の研究科に特化した大学院看護学研究科を開設(平成26年)しました。研究科の構成は実践看護者育成コースと研究者育成コースから成り立っています。

実践看護者育成コースは、がん看護領域と実践助産学領域(免許取得課程)および実務経験のある助産師を対象とした実践助産学開発領域から構成されています。したがって従来看護学科で行っていた助産師養成は発展的に解消し、実践助産学領域に組み込まれています。一方、がん看護領域では、がん看護専門看護師の養成課程を有しており、将来の資格獲得が可能となります。

研究者育成コースでは、研究者の育成と共に、看護の多様化するニーズに応える形の研究を続けていきます。こうした大学院で

の研究成果が、今後の看護学の発展に寄与することは言うまでもありません。看護学が単独で大学院を構成することは国立大学では大変珍しく、その成果が目目されています。



卒業後の主な進路

本学部附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院、宮崎県職員(保健師)、他の自治体職員(保健師) 他

取得可能な免許、資格

- 看護師(国家試験受験資格)
- 保健師(国家試験受験資格)^{※1}

※1 選択制、2年次後学期に履修生の選考試験を行う。保健師免許取得後、教育職員免許法の所要単位を修得し、申請により看護教諭二種免許を取得することができます。